

住宅・土地統計調査で測る都市のウォーカビリティ

空間情報科学研究室・山田 育穂

住宅・土地統計調査（総務省統計局が5年ごとに実施; 昭和23年(1948年)～)

- ✓ 国内の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、現住宅以外に保有する住宅・土地などの実態を把握し、その現状と推移を明らかにするための調査
- ✓ 調査結果の利用: 国や地方自治体の住生活基本計画や、防災・耐震を中心とした都市計画、空き家対策など住生活に関わる諸施策の基礎資料、白書や学術研究における分析など

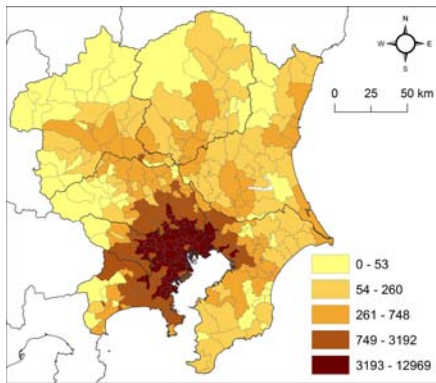
都市のウォーカビリティ

- ✓ 都市空間の歩きやすさ。歩行をサポートする都市の物理的環境要素
- ✓ ウォーカビリティの3D (Cervero and Kockelman 1997)
 - 人口密度 (population Density)
 - 都市の活気を創出
 - 歩行者に優しいデザイン (pedestrian-friendly Design)
 - 歩行の利便性と快適性を確保
 - 土地利用多様性 (land use Diversity)
 - 歩いて行かれる複数の目的地を提供
- ✓ 住宅・土地統計調査を用いて、市区町村レベルのウォーカビリティを推定可能

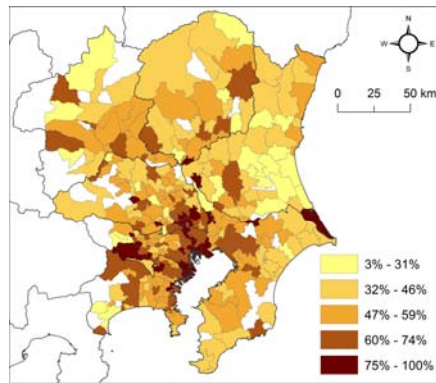
<ウォーカビリティの3Dと調査事項>

3D	住宅・土地統計調査の調査事項
人口密度	住宅数
歩行者に優しいデザイン	最寄りの幅員6m以上の道路までの距離
土地利用の多様性	住宅の種類（専用住宅、店舗その他の併用住宅）
	建築の時期 最寄りの施設までの距離 • 交通機関 • 医療機関 • 公園 • 公民館・集会所 • 老人デイサービスセンター • 郵便局・銀行 • 保育所、小学校、中学校

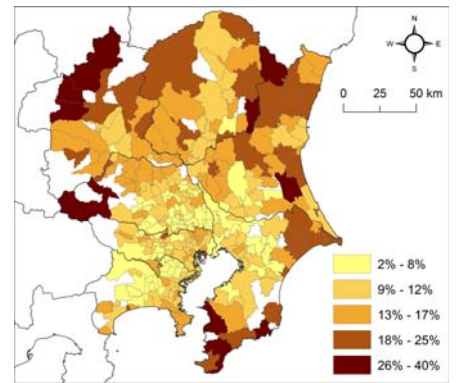
関東地方1都6県のウォーカビリティ – 平成20年住宅・土地統計調査より–



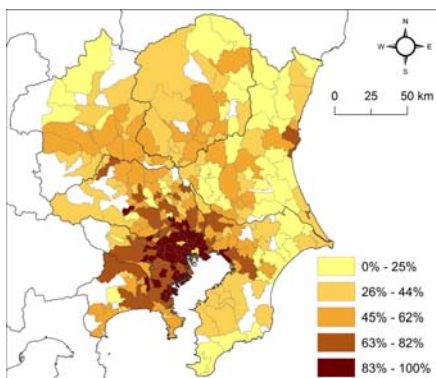
住宅の密度 (戸/km²)



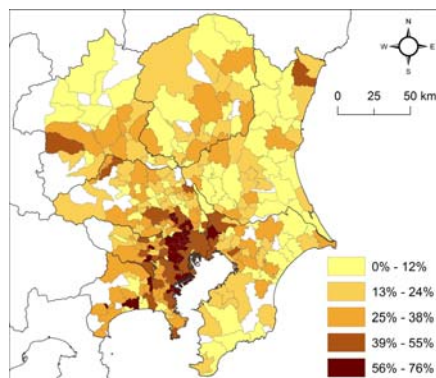
最寄りの幅員6m以上の道路までの距離が50m未満の住宅の割合 (%)



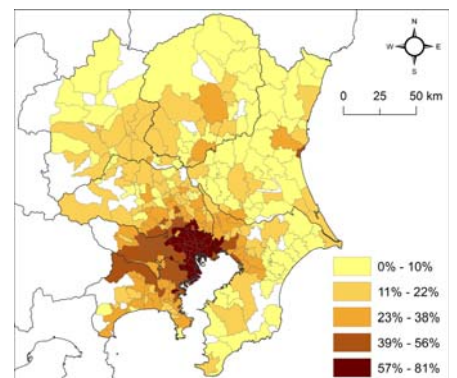
昭和45年以前に建てられた住宅の割合 (%)



最寄りの医療機関までの距離が500m未満の住宅の割合 (%)



最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離が500m未満の住宅の割合 (%)



最寄りの保育所までの距離が500m未満の住宅の割合 (%)